

情報公開内容

人工気胸作成下に腎癌凍結療法の有用性の研究

1. 研究の対象

2018年12月～2019年12月に当院で腎癌に対して人工気胸作成下に凍結療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

腎癌に対する凍結療法は本邦において近年新たに保険収載された治療法である。CT透視ガイド下で行われることが一般的であるが、腎上極の病変では肺が穿刺経路にあり、肺損傷のリスクがある。よって人工気胸作成下に凍結療法を行うことにより肺損傷のリスクが軽減できると考えられる。今回我々は人工気胸作成下の腎癌凍結療法の有用性を評価することが目的です。研究期間は倫理委員会承認日から2021年3月31日までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

人工気胸作成下の腎癌凍結療法の有用性を検討します。調査項目は、患者の性別、年齢、採血データ、画像所見(CTなど)、臨床情報(既往歴、現病歴、合併症、臨床経過など)です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院 放射線科

担当者:特任助教 梶原賢司

連絡先電話番号:088-880-2367

研究責任者：高知大学医学部放射線医学講座 山上卓士